

2015年11月23日

報道関係各位

ビール酒造組合
日本洋酒酒造組合

**第14回 未成年者飲酒防止
ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン
8,531点の応募の中から
最優秀賞4作品・学校賞2校を決定！！**

ビール酒造組合(会長代表理事:水谷 徹)は、当組合の活動の一環として、国税庁、文部科学省、厚生労働省など関係省庁および、全国養護教諭連絡協議会、全国のPTA等の団体のご後援をいただき、日本洋酒酒造組合との共催で「第14回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を本年6月から9月末日まで実施いたしました。このたび、最優秀賞受賞者および学校賞受賞校を決定し、11月23日(月・祝)に表彰式を開催しました。

今回のキャンペーンでは、全国の中学生・高校生から8,531点の作品を応募いただきました。選考委員会(審査委員長:東ちづる氏)による厳正な審査の結果、中学校・高等学校のポスター部門・スローガン部門からそれぞれ最優秀賞各1点、優秀賞各2点、佳作各10点の合計52点と、学校賞部門から中学校1校、高校1校を選出いたしました。



前列(向かって左より): 濱岡麗奈さん、得能真思さん、前田野乃葉さん、山口美月さん、
村山裕子先生、園岡和子先生
後列(向かって左より): 東ちづる審査委員長、水谷 徹 会長代表理事

ビール酒造組合では、2002 年度から「未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を実施しております。独創性に富んだ作品を制作することにより、未成年者自身が飲酒防止に対する関心を高めるとともに、未成年者飲酒が及ぼす弊害に関する理解促進の一助となると考えております。

なお、各部門の最優秀賞受賞者および学校賞の受賞校を対象とする表彰式を 2015 年 11 月 23 日(月・祝)に第一ホテルアネックス(東京)にて開催しました。当日は、審査委員長の東ちづるさんおよびビール酒造組合・水谷 徹会長代表理事より、表彰状・副賞などが授与され、審査の講評をしていただきました。

当組合では、今後も本キャンペーンを実施し、未成年者飲酒防止活動を定着させていきたいと考えております。

<水谷 徹 会長代表理事 挨拶>

ビール酒造組合が日本洋酒酒造組合との共催で未成年飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞の募集キャンペーンを開始いたしましたから、本年度で第 14 回目を迎えました。これだけ会を重ねられたのも、ご後援をいただいている、国税庁、警察庁、文部科学省、厚生労働省、内閣府の方、そして各学校関係団体にご協力いただいているからということで、非常に嬉しく思っています。また審査委員長の東ちづるさんにも、お忙しい中熱心に皆さんの作品を評価いただき、また学校賞の受賞校については「この取り組みがもっと広まるように」と学校まで足を運んでいただいています。こういった活動のもとに 14 回続いてきたことを大変嬉しく思います。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

このキャンペーンの目的は、未成年の飲酒についてきちんとルールを守りましょう、飲酒は 20 歳になってから、お酒を飲む弊害について知ってもらい輪を広げていきましょう、ということで、中学生・高校生の生徒さん自ら、ポスター・スローガンを考えていただいています。学校賞の方は、学校単位の活動を非常に熱心にやっていたりしゃる学校が沢山あるものですから、それを選出・表彰させていただいて、ほかの学校の皆さんにご紹介する。それによって未成年飲酒防止のキャンペーンが定着し広がりをもっていけたらいいなという思いで、会を重ねて実施しています。

今年の応募数は昨年を上回り、(ポスター・スローガン・学校賞の)総数で 8,531 点の、沢山の作品の応募がございました。その中でも本日お越しの皆さんは最優秀賞ということで、一生懸命作っていただいた作品を心からお祝いしたいと思います。

この取り組みをさらに充実させ、広がりをみせることを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。

<東ちづる 審査委員長の講評>

皆さん、本当におめでとうございます。また、応募してくださって、受賞し、授賞式の間までお越しいいただき、本当にありがとうございます。実は最終審査をしている時は、学年も、性別も、名前も伏せられた状態なので、私たちはどんな方々が受賞したか分からないんです。そのため、毎回今日という日をとても楽しみにしているんです。そんな中・・・(受賞者が)全員女子でしたね！ぜひ男子には力いっぱい悔しがってもらって、奮起してもらって、来年は受賞してほしいなと思います。すごいですね、女子パワー。

このキャンペーンはいいことが沢山あると思っています。一つはもちろん皆さんがお酒に対して正しい知識を持つということです。皆さんは活動を通じて詳しくなりましたと思います。なぜ未成年が飲酒してはいけないのか、ということをしっかり分かっていたら、大人になっても飲まれることはないと思います。「未成年の飲酒がだめ」というのは、みんなの体や脳や精神を守るためのものなんだ、ということなんですね。

ただこれは「お酒が悪い」というわけではないです。お酒は素晴らしい歴史や伝統や文化など、沢山の人が研究をして作って、お店やレストランで大人たちが楽しむものなんです。私自身もお酒は大好きなので、お酒に失礼のない飲み方をしていこうと思っています。お酒の力はすごいんです。会議室だと決まらないような話も、お酒の場だとコミュニケーション力が高まって商談が決まったり、お友達ができたり、恋愛がどんどん進んだり…たくさん素晴らしいことがあるんです。

また、このキャンペーンのいいところのもう一つはみんなが「どういう風にスローガンを作ろうかな、ポスターを作ろうかな」とか、学校賞では学校のみんなで力を合わせてどんな内容にしようかと練ってねって表現している。この力は大人になっても発揮できると思います。こういった表現をすることで、今まで出会わなかった人たちと出会えます。違う学校の人たちや、大人のようなジャンルの人たち、そして私とも出会ったり。私自身は、この賞を通じて(学校賞を受賞した)学校に行くことができます。表現するということはものすごく大きな力になるんですね。

(ポスター・スローガン部門の)副賞は図書カードです。今、活字離れが進んでいますけれども、ぜひたくさん本を読んでください。そして間違いや失敗を気にしないで、どんどん自分の道を進んでいただければと思っています。

今回の受賞作品は私たちが審査をして、うんうん唸りながら選びました。学校賞の中学・高校もたまたま両校とも愛知県になりました。これは私たちもびっくりしています。

これからも考える・作ることという行動をどんどん進めてほしいと思います。ぜひ後輩にこういったキャンペーンに応募することを勧めてください。是非男子たちにもね。(笑)おめでとうございました。

- ◇主催 : ビール酒造組合
- ◇共催 : 日本洋酒酒造組合
- ◇後援 : 内閣府、警視庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、(一社)全国高等学校 PTA 連合会、(公社)日本 PTA 全国協議会、全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、全国中学校長会(公社)アルコール健康医学協会
- ◇協力 : 日本教育新聞社

ビール酒造組合とは…ビールメーカー5社で構成される特別認可法人です。
日本洋酒酒造組合とは…ウイスキー等メーカー73社で構成される特別認可法人です。

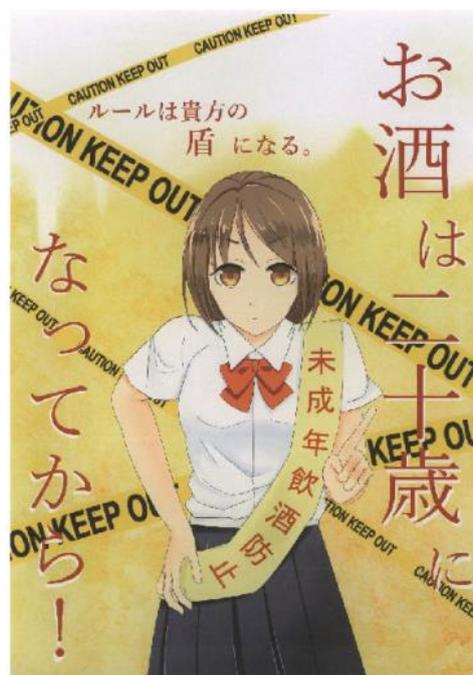
**「第14回 未成年者飲酒防止 ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
受賞者一覧**

※ 受賞作品はビール酒造組合ホームページ(<http://www.brewers.or.jp/>)からご覧いただけます。

●ポスター部門:中学生 受賞作品

	氏名	氏名ふりがな	都道府県
最優秀	濱岡 麗奈	はまおか れいな	広島県
優秀	松木 瑠々	まつき るる	山形県
優秀	尾池 樹杏	おいけ じゅあん	京都府
佳作	遠藤 優奈	えんどう ゆうな	福島県
佳作	森山 深結	もりやま みゆ	京都府
佳作	榎田 志緒里	えのきだ しおり	埼玉県
佳作	宮城 彩羽	みやぎ あやは	沖縄県
佳作	増田 紗也	ますだ さや	埼玉県
佳作	工藤 真咲	くどう まさき	北海道
佳作	水野 夕梨香	みずの ゆりか	北海道
佳作	福元 ゆあ	ふくもと ゆあ	鹿児島県
佳作	田中 亜弥	たなか あみ	山梨県
佳作	浜中 美音	はまなか みおん	青森県

＜最優秀賞受賞 ポスター＞



【ポスター部門:中学生 最優秀賞受賞作品】 濱岡 麗奈 さん(広島県)

●ポスター部門:高校生 受賞作品

	氏名	氏名ふりがな	都道府県
最優秀	得能 真思	とくのう まこ	愛媛県
優秀	近藤 寛子	こんどう ひろこ	岐阜県
優秀	中村 海音	なかむら みおん	静岡県
佳作	大平 梨緒	おおひら りお	香川県
佳作	行方 里奈子	ゆきかた りなこ	東京都
佳作	重廣 翼	しげひろ つばさ	鹿児島県
佳作	河井 楓	かわい かえで	東京都
佳作	大柴 涼子	おおしば りょうこ	香川県
佳作	長島 未侑	ながしま みゆう	愛知県
佳作	小島 優里奈	こじま ゆりな	神奈川県
佳作	橋本 璃沙	はしもと りさ	香川県
佳作	岡部 志音	おかべ しおん	大阪府
佳作	野村 菜々子	のむら ななこ	岡山県

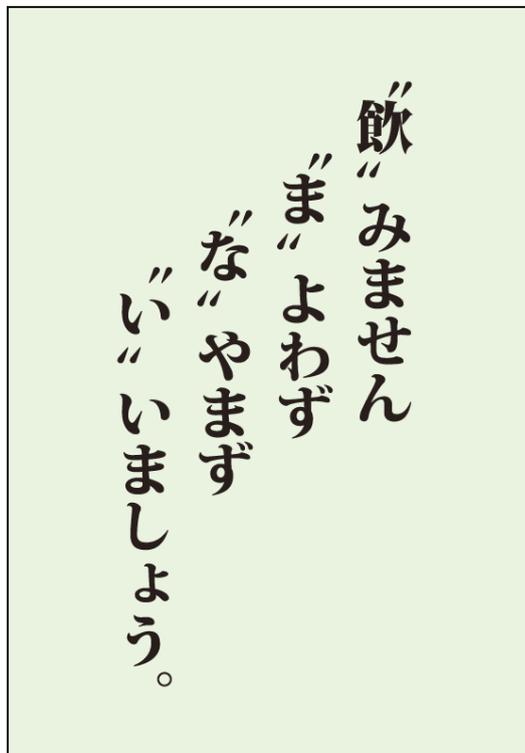
<最優秀賞受賞 ポスター>



【ポスター部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 得能 真思さん(愛媛県)

●スローガン部門：中学生

【スローガン部門：中学生 最優秀賞受賞作品】 前田 野乃葉さん(富山県)

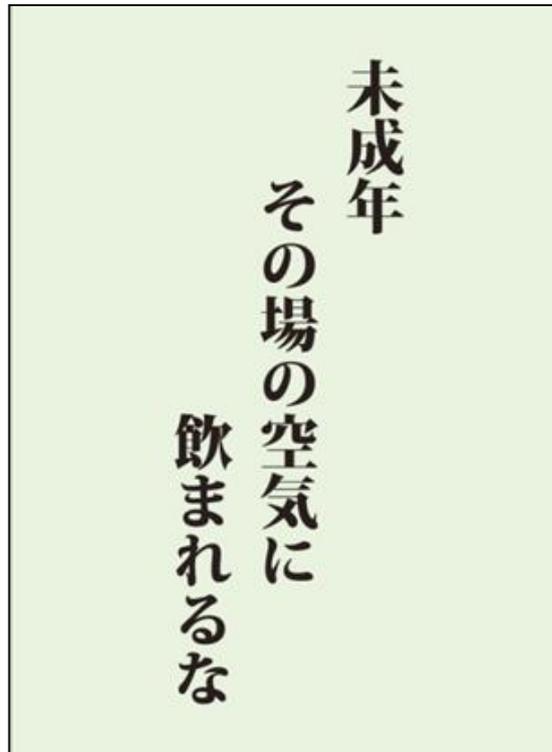


【スローガン部門：中学生 受賞作品一覧】

	氏名	氏名ふりがな	都道府県	スローガン
最優秀	前田 野乃葉	まえだ ののは	富山県	“飲”みません “ま”よわず “な”やまず “い”いましょう。
優秀	杉 奈菜美	すぎ ななみ	岡山県	飲まないと 決めた心は 揺れません!!
優秀	牧田 美蘭	まきた みらん	東京都	「飲みません」 「飲ませません」が 未来をつくる
佳作	宮本 和也	みやもと かずや	青森県	勇気持て すすめられても 飲酒にNo!
佳作	稲田 倫久	いなだ りく	愛媛県	「飲まないよ」 心の誓い 強い意志
佳作	大原 星南	おおはら せいな	東京都	しっかり持とう 飲まない気持ちと 断る勇気
佳作	岸 歩花	きし あゆか	山形県	「飲みません」 その一言を 言う勇気
佳作	松野 雅	まつの みやび	青森県	誘惑の 空気にも酒にも 飲まれるな
佳作	神尾 光	かみお ひかる	東京都	「飲みません」 ことわる君は かつこいい
佳作	濱田 夏樹	はまだ なつき	千葉県	おかしいよ 背伸びするところ そこじゃない
佳作	山谷 乃愛	やまや のあ	青森県	「飲んでみる?」 断る勇気が 君 守る
佳作	谷合 風香	たにあい ふうか	京都府	飲むな 飲ますな 未成年 自分のためにも まわりのためにも
佳作	藤田 章寛	ふじた あきひろ	京都府	飲むよりも断るほうが かつこいい

●スローガン部門:高校生

【スローガン部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 山口 美月さん(岩手県)



【スローガン部門:高校生 受賞作品一覧】

	氏名	氏名ふりがな	都道府県	スローガン
最優秀	山口 美月	やまぐち みつき	岩手県	未成年 その場の空気に 飲まれるな
優秀	小畑 ちさと	おぼた ちさと	広島県	「飲んでみる?」 大人が勧めて どうするの?
優秀	服部 千紘	はっとり ちひろ	福岡県	未成年者飲酒「ほんの少し」も許されません。
佳作	石山 沙和香	いしやま さわか	静岡県	未成年の私、断る勇気を 大人の私、誘わない思いやりを
佳作	榛葉 美咲	しんば みさき	静岡県	ストップ飲酒 ストップ強要 若者の明るい未来のために
佳作	渡邊 彩夏	わたなべ あやか	東京都	選挙は18、飲酒は20歳 自分の未来は自分で決める
佳作	吉岡 優樹	よしおか ゆき	広島県	未成年の飲酒 特別な日でも 禁止です
佳作	山本 光葵	やまもと みつき	山口県	「飲みません」 そう断わった事が 立派な大人だ
佳作	佐藤 冬美	さとう ふゆみ	秋田県	「飲んじゃダメ!!」 みんなで守る 子供の未来
佳作	新宅 杏袈	しんたく きょうか	広島県	「未成年なので飲めません」 その言葉が君を勇者に変える。
佳作	松崎 有紗	まつざき ありさ	広島県	利益なし ハタチ未満の アルコール
佳作	市橋 陸	いちはしりく	東京都	未成年 飲まぬ人には 福来たる
佳作	森木 弘之	もりき ひろゆき	福岡県	祝い事だから大丈夫 その一言 未成年者を困らせる

<最優秀賞受賞 学校賞>

●中学校

都道府県	学校名	担当者名
愛知県	豊田市立小原中学校	村山 裕子

愛知県 豊田市立小原中学校

瞬時にして情報の飛び交う現在、気づかないうちに、生徒たちが飲酒の機会に出会わないとも限らない。また、年齢的にも、飲酒を身近に感じる時期でもある。そこで、未成年者である生徒たちの飲酒防止を図るため、「未成年者の飲酒」について、地域と連携して防止方策を調べたり、飲酒の影響について講師から学んだりする会を行った。

<取り組み内容>

保健委員（生徒 14 人）が地域の酒販売店と連携して調べたことをもとに、「未成年の飲酒防止」を訴える学校保健委員会を行った。販売店へのインタビューから、どの店も未成年者の飲酒防止のきまりを守って販売していることがわかった。また、保健委員が作成した「未成年者の飲酒防止クイズ」では、生徒と保護者が一緒に考え、未成年の飲酒が心身に及ぼす悪影響を学ぶことができた。保護者には、「安易に子どもにお酒を勧めない」という意識を高めることもできた。さらに、飲酒を勧められた場合の断り方をわかりやすい劇で示すなどして、「未成年の飲酒防止」を伝えることができた。

特に、3年生は、保健体育担当教師と養護教諭とのティームティーチングによる授業で、未成年者の飲酒が身体に及ぼす影響を学習した。今後は、飲酒体験ゴーグルやパッチテストなどを活用した学習を行い、さらに飲酒防止の意識を高める取組を進めていきたい。

●高等学校

都道府県	学校名	担当者名
愛知県	愛知県立三好高等学校	圓岡 和子

愛知県 愛知県立三好高等学校

文化祭での保健委員による展示発表のテーマに「未成年者飲酒防止」を取り上げた。発表にあたり全校生徒への飲酒に関する意識調査を行い、その結果をいかした展示物を作成した。会場内ではクイズや専用ゴーグルを用いた飲酒状態体験やアルコールパッチテストを実施し、楽しみながら学んでもらえるように工夫した。

<取り組み内容>

事前のアンケートから、未成年者の飲酒について安易に考えている生徒が少なからずいた結果を受け「なぜ未成年者の飲酒がいけないのか」が伝わるように展示内容を工夫した。作品1つにつきクイズを一問解き、全問正解者には賞品を用意したり、会場内でアルコールパッチテストや専用ゴーグルを用いた飲酒状態体験をできるようにしたところ、200名を超える来場があった。来場者からは、飲酒による未成年者への影響に驚く声も聞かれ、飲酒について正しく学ぶ機会を提供できた。何より本企画に取り組んだ保健委員自身が飲酒について深く学んだことで、未成年者への影響について同世代の友人たちに伝える力がついた。さらに、展示物を1年生の保健の授業で活用されることになり、作成した生徒の自信につながった。今後も未成年者が飲酒をしてはいけない理由を生徒自身で発信していけるよう支援したい。

<過去応募数・審査結果について>

	応募総数	中学校			高校		
		ポスター	スローガン	学校賞	ポスター	スローガン	学校賞
(第1回)	3,176	(1933)	(672)	(-)	(133)	(438)	(-)
(第2回)	6,495	(3273)	(2241)	(23)	(385)	(564)	(9)
(第3回)	5,408	(3702)	(1131)	(23)	(238)	(310)	(4)
(第4回)	9,981	(4951)	(2936)	(32)	(925)	(1125)	(12)
(第5回)	11,168	(4388)	(4084)	(32)	(630)	(2020)	(14)
(第6回)	8,303	(4801)	(1905)	(16)	(588)	(982)	(8)
(第7回)	9,663	(5132)	(3084)	(54)	(682)	(700)	(11)
(第8回)	10,932	(4524)	(3968)	(38)	(485)	(1908)	(9)
(第9回)	7,846	(4403)	(1519)	(14)	(892)	(1014)	(4)
(第10回)	7,268	(3,568)	(1,982)	(16)	(816)	(881)	(5)
(第11回)	9,292	(3,859)	(3,109)	(18)	(756)	(1,537)	(8)
(第12回)	6,686	(1,956)	(3,257)	(11)	(587)	(871)	(4)
(第13回)	7,575	(2,038)	(3,052)	(24)	(505)	(1,938)	(17)
第 14 回							
全応募数	8,531	2,421	3,620	16	842	1,625	6
1次審査	-	90	77	-	117	100	-
2次審査	-	24	26	7	23	22	6
最終審査会	-	13	13	1	13	13	1

「第14回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」概要

- ◇名称 : 「第14回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
- ◇募集内容 : ●ポスター・スローガン部門: 未成年者の飲酒防止をPRするポスター・スローガン
・最優秀作品は、日本教育新聞を通じて全国の中学校・高等学校にポスターとして配布いたします。
・入選作品については、当組合が各種啓発活動において、活用いたします。
●学校賞部門: 未成年者飲酒防止に関する学校全体での取り組み
- ◇応募資格 : ●ポスター・スローガン部門: 平成27年6月1日現在、中学校・高等学校に在学している方
●学校賞部門: 全国の中学校、高等学校
- ◇応募形式 : ●ポスター: ハツ切り(27×38 cm)～四ツ切り(38×54 cm)以内のサイズ
*コンピューターグラフィックスでの応募も受け付けています。(出力サイズ B4または A3)
●スローガン: ハガキ1通につき1作品を記入
●学校賞: 学校賞の応募シートに必要事項を記入
(応募シートは、キャンペーンリーフレットを使用。
またはビール酒造組合、日本教育新聞社ホームページより出力)
- ◇必要事項 : ●ポスター・スローガン部門:
1)住所(郵便番号) 2)氏名 3)年齢 4)学校名・学年 5)電話番号
6)制作活動を通して感じた、「未成年者飲酒」に関する印象および感想
*作品ごとに、ポスターは裏面に1～6を記入、スローガンはハガキ表面に1～5を、
ハガキ裏面にスローガンおよび6をご記入ください。
●学校賞部門:
1)学校名 2)代表者名(学校長名) 3)担当者名(教諭) 4)担当科目
5)所在地(学校住所) 6)電話番号 7)全生徒数
8)未成年者飲酒防止に関する取り組み
*エントリーシートに上記の必要事項を記入の上応募。
- ◇募集期間 : 平成27年6月15日(月)～平成27年9月30日(水)必着
- ◇選考方法 : 厳正なる審査の上、入選作品を決定いたします。
- ◇発表 : 入選者には事務局より直接ご連絡いたします。
また、ビール酒造組合ホームページ上で発表。
- ◇表彰式 : 平成27年11月23日(月・祝) 東京で開催
*東京での表彰式終了後、平成28年1月に学校賞受賞校を訪問し、表彰式と東ちづるさんによる未成年者飲酒防止に関する講演を行う予定です。
- ◇審査委員長: 東 ちづる氏(女優)
1960年 広島県生まれ。
ドラマ、ラジオ、コメンテーターのほか、講演、エッセイ執筆など幅広く活躍中。骨髄バンクやドイツ平和村などのボランティア活動を20年以上続け、2011年には一般社団法人「Get in touch」を設立し理事長を務めている。主な著書に「わたしたちを忘れないで～ドイツ平和村より」、エッセイ「らいふ」。

◇報 奨 : 【ポスター部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)10万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各2名)1万円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)5千円分の図書カード、賞状

【スローガン部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)5万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各1名)5千円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)3千円分の図書カード、賞状

【学校賞部門 中学校、高等学校】

各1校 30万円分相当の商品、賞状、
審査委員長(東ちづる氏)の学校訪問による講演会

◇応募先 : 〒108-0023 港芝浦郵便局留め

「第14回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」事務局

◇詳細 : ビール酒造組合ホームページ : <http://www.brewers.or.jp/>

◇お問い合わせ先 : 事務局電話番号 : 03-5443-1232 (土・日・祝日を除く10:00~18:00)

◇主催および共催・後援一覧 :

主催:ビール酒造組合

共催:日本洋酒酒造組合

後援:内閣府、警察庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、

(一社)全国高等学校PTA連合会、(公社)日本PTA全国協議会、

全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、

(公社)アルコール健康医学協会

協力:日本教育新聞社

<本件に関するお問い合わせ先>

第14回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン表彰式

広報事務局(電通PR内)

担当:長谷川(080-2022-2262)・山下

Tel:03-5565-8475 Fax:03-3542-5649